

## 感染症定期報告の状況

感染症定期報告の状況(医療機器・用具 2003/10/16 ~ 2004/3/31)

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	感染症(PT)	出典	概要
2003/10/23	21	エドワーズライフサイエンス	生体人工弁	ウシ心のう膜	ウシ心のう膜	米国	組成・構造	有り	クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE Diseases Information, 8/15 2003; Vol.16-No.33	カナダ食品検査局によるアルバータ州における疫学調査によるとBSE感染牛が根絶され、ヒトの食物連鎖に入らなくなったことを報告。
2003/10/23	22	エドワーズライフサイエンス	1,2 生体人工心臓弁 3 植込み型補助人工心臓	ブタ心臓弁	ブタ心臓弁	米国	1~3 組成・構造	有り	E型肝炎	Journal of General Virology 2003; vol.84: 2351-7	北海道で市販されているブタの肝臓の1.9%からHEV遺伝子の一部を検出。この遺伝子が、ブタ肝臓を摂取後HEVに感染した患者のウイルスとほぼ同等の塩基配列を呈したことから、HEVが十分加熱されていないブタ肝臓の摂取によりヒトに感染する可能性が示唆された。
2003/10/24	23	日本シャーウッド	1 滅菌済み中心静脈注射用チューブ及びカテーテル 2 滅菌済み体内留置排液用チューブ及びカテーテル 3 滅菌済み人工腎臓用留置針	ウロキナーゼ	ヒト尿	中華人民共和国	1~3 製造工程	有り	重症急性呼吸器症候群	THE LANCET 2003; vol.361, May24, 1779-85	中国等の14人の患者から分離培養されたSARSコロナウイルスのゲノム配列の調査により、このウイルスが新しい病原体であることと2つの異なる遺伝子型に分類されることが判明。
										THE LANCET 2003; vol.362, July26, 263-70	SARS患者検体から検出したコロナウイルスをカニクイザルに感染させて分析した結果、新型コロナウイルスがSARSの病原体であり、主に気道がウイルス源として呼吸器に重要な影響を与えることが判明。
2003/11/10	24	メディコスヒラタ	1 滅菌済み中心静脈注射用チューブ及びカテーテル 2 滅菌済み血管診断用チューブ及びカテーテル 3 その他のチューブ及びカテーテルの周辺関連器具(カテーテル挿入セット) 4 滅菌済み血管処置用チューブ及びカテーテル	ヘパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中国	1~4 組成・構造	有り	E型肝炎	Journal of General Virology 2003; vol.84: 2351-7	北海道で市販されているブタの肝臓の1.9%からHEV遺伝子の一部を検出。この遺伝子が、ブタ肝臓を摂取後HEVに感染した患者のウイルスとほぼ同等の塩基配列を呈したことから、HEVが十分加熱されていないブタ肝臓の摂取によりヒトに感染する可能性が示唆された。
2003/11/13	25	ボストン・サイエンティフィック・ジャパン	心臓ペースメーカーの付属品(体外式ペースメーカー電極)	ヘパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	アメリカ合衆国、カナダ	組成・構造	有り	E型肝炎	Biotech Week 2003: 9/3, 485	日本の症例を通じて、シカ肉を生食することでE型肝炎が伝播する可能性を指摘。
								有り	ウイルス感染(PPRSV:ブタ生殖器呼吸器症候群ウイルス)	養豚の友 2003; 5: 49-51	ブタがPPRSVウイルスに感染しても、臨床症状が認められない場合も多いことを事例報告。
								有り	ウエストナイルウイルス感染	CDC MMWR, 8/15, 2003/52(32);772	2003年8月7~13日にCDCに報告されたWNV感染患者数は240例、18州から報告された。これで2003年の累計WNV感染者数は393例となった。同期間で死亡鳥類492羽、ウマ212頭、リス1匹および蚊430プールが報告されている。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	感染症(PT)	出典	概要
										Health Canada Population and Public Health Branch, Infectious Diseases News Brief 2003, 8/1	カナダで2003年初めてのWNV感染者がサスカチュワン州で確認された。特に症状は見られなかったが、供血がカナダ血液サービスのウイルス検査で陽性となったことから判明、また、この血液は速やかに回収された。
								有り	ウイルス感染 (ニパウイルス)	Health & Medicine Week 2003: 8/13, 278	マレーシアでブタから農業従事者にニパウイルスが感染した事例やアフリカ産齧歯類からのサル痘の感染例をあげ、輸入動物と人畜共通感染症の拡大について言及した報告。
								有り	口蹄疫	OIE Diseases Information, 9/12 2003; Vol.16-No.37	アルゼンチン・サルタ州で口蹄疫の疑いのブタが報告され、2頭の死亡が確認された。
								有り	レンサ球菌性髄膜炎	臨床神経学 43(4): 176-9; 2003	ブタの常在菌であるブタ連鎖球菌による、腰椎硬膜外膿瘍を合併した細菌性髄膜炎を発症した食肉加工業の1症例が、日本で初めて報告された。
								有り	コレラ	OIE Diseases Information, 8/15 2003; Vol.16-No.33	ルクセンブルクの家畜ブタに発生した豚コレラの感染源として、イノシシとの接触の可能性が示唆されている。発生農場と接触農場に対して、発病動物とその周辺のすべての動物を殺処分する方式を適用した。
										OIE Diseases Information, 8/29 2003; Vol.16-No.35	ブルキナ・ファソのKompienga地区において、2003年7月にアフリカ豚コレラの症状で、400頭のブタのうち133頭が死亡したが、8月には死亡例の報告はない。Kompienga地区の感染動物の隔離や豚および豚製品の移動の禁止、近接する州でのサーベイランスの強化を対策としてあげている。
2003/11/25	26	東郷メディキット	1 滅菌済み中心静脈注射用チューブ及びカテーテル 2 滅菌済み人工腎臓用留置	ウロキナーゼ	ヒト尿	中国	1,2 製造工程	無し			
2003/11/28	27	アポットジャパン	1 滅菌済み中心静脈注射用チューブ及びカテーテル 2 滅菌済み血管診断用チューブ及びカテーテル 3 滅菌済み心臓用チューブ及びカテーテル	ヘパリンナトリウム	ブタ腸粘膜		1~3 組成・構造	有り	E型肝炎	Biotech Week 2003: 10/8, 398	韓国においてヒトとブタにHEVの不顕性感染が広がっている。HEVは新たな人畜共通感染症と考えられ、発展途上国では公衆衛生上の極めて深刻な問題となっているが、最近の血清学的調査では、先進国でもHEV感染の広がりが示唆されると報告された。
										Journal of Clinical Microbiology 2003; 41(8): 3602-8	韓国において、ブタ血清試料からブタHEV分離株を3株同定したこと、供血者の18%は抗ブタHEV抗体陽性であったことなどから、ヒトとブタの間に無症候性HEV感染が流行している可能性が示唆された。
										Journal of General Virology 2003; vol.84: 2351-7	北海道で市販されているブタの肝臓の1.9%からHEV遺伝子の一部を検出。この遺伝子が、ブタ肝臓を摂取後HEVに感染した患者のウイルスとほぼ同等の塩基配列を呈したことから、HEVが十分加熱されていないブタ肝臓の摂取によりヒトに感染する可能性が示唆された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	感染症(PT)	出典	概要
										SRL感染症フォーラム講演集 vol.7; 20-32	E型肝炎は、これまでは衛生状態の良くない国での肝疾患とされてきたが、渡航歴のない者の肝炎が1998年に米国で報告され、E型肝炎ウイルス(HEV)型と呼ばれるようになった。ブタが感染源となっており、ヒトに感染することが推定される。
								有り	エルシニア感染	Advances in experimental medicine and biology: 325-7	近年、エルシニア・エンテロコリチカに汚染された豚肉及びその加工品によるヒトへの感染が増加している。微生物学的検知の方法、食品検査の迅速さと精度が重要となる。
								有り	旋毛虫症	TRENDS in Parasitology 2003; 19(8): 338	旋毛虫症が、管理が行き届いていない中央及び東ヨーロッパの小規模養豚業のブタに感染拡大した。野生のイノシシ及び鳥獣にも旋毛虫の感染が拡大したことに伴い、ブタやこれら動物を食するヒトへの感染が心配される。既にヨーロッパでは、ブタ製品の流通に影響が出ている。
										Parasite 2003; 10: 159-64	スペインで、野生イノシシの肉を原料としたソーセージを食べたことにより旋毛虫に感染、発症した。また、旋毛虫症はブタや狩猟動物の肉がヒトの主な感染源として考えられていたが、馬肉によっても感染した症例が明らかになった。
								有り	糞線虫症	Canadian Journal of Infectious Diseases 2003; 14(3): 163-6	バランチジウム線虫の呼吸器感染より、壊死性肺感染症を起こした稀少症例の報告。バランチジウム線虫の主な感染経路はブタ糞口感染で、呼吸器感染は滅多に起こらない。
								有り	クリプトスポリジウム性胃腸炎	Parasitology Research 2003; 90: 232-5	人型遺伝子タイプ のクリプトスポリジウムを子豚及び子羊への実験的誘導を行った結果、その感染が認められた。今後は糞口感染やオーシストに汚染された水・食物汚染による感染の調査が必要である。
								有り	レンサ球菌性敗血症	International Journal of Hygiene and Environmental Health 2002; 205: 385-92	ブタを輸送した36歳のトラック運転手にストレプトコッカス・スイス型による敗血症性ショックが起こった。ブタ関係業者の132名の労働者に咽頭検査等を実施したところ、ストレプトコッカス・スイスの定着率は5.3%であった。
								有り	ブラストシスティス感染	Parasitology Research 2003; 90: 124-8	ブタとウシに存在するブラストシスティス有機体がヒトへの潜在的感染源となっている。ブタを扱うヒトは、扱わないヒトに比べて非常に高い感染率を示す。
								有り	ブドウ球菌感染	FASEB Journal Experimental Biology 2003: Meeting Abstracts A187: 129.12	ブドウ球菌腸毒素A, Bについて、毒素起因致死モデルの子豚を確立、この豚を用いてPCRにより遺伝子を表現した。
								有り	カンピロバクター感染	独立行政法人農業技術研究機構 動物衛生研究所 平成14年度動物衛生試験研究成績・計画概要集	ウシ、ブタを中心にCampylobacter hyointestinalis菌株を収集し、生化学的性状による同定、血清学的多様性の解明及び血清型別法の開発等を行う研究の概要。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	感染症(PT)	出典	概要
								有り	インフルエンザ	養豚の友 2003; 7: 58-61	ブタとヒトが同じ病原体にかかる病気の中で、ヒトに最大規模の健康障害を引き起こしたのはインフルエンザである。1918年のスペインかぜでは、当時の世界人口20億人のうち6億人が感染して2,300万人が死亡した。
								有り	インフルエンザ	ウイルス 2003; 53(1): 71-4	インフルエンザの遺伝子導入経路は、カモ アヒル ブタ ヒトが一般的である。ヒトのウイルスとカモのウイルスがブタに同時に感染すると、両ウイルスの遺伝子再集合が生じる。カモ、家禽とブタの免疫調査を実施し、ウイルスの分布を明らかにすることで、新型インフルエンザウイルスの予測が可能となる。
2003/12/10	28	川澄化学工業	人工心肺用血液回路	ヘパリン	ブタ小腸粘膜	中国	製造工程	有り	レンサ球菌性髄膜炎	臨床神経学 43(4): 176-9; 2003	ブタの常在菌であるブタ連鎖球菌による、腰椎硬膜外膿瘍を合併した細菌性髄膜炎を発生した食肉加工業の1症例が、日本で初めて報告された。
								有り	インフルエンザ	養豚の友 2003; 7: 58-61	ブタとヒトが同じ病原体にかかる病気の中で、ヒトに最大規模の健康障害を引き起こしたのはインフルエンザである。1918年のスペインかぜでは、当時の世界人口20億人のうち6億人が感染して2,300万人が死亡した。
								有り	E型肝炎	SRL感染症フォーラム講演集 vol.7; 20-32	E型肝炎は、これまでは衛生状態の良くない国での肝疾患とされてきたが、渡航歴のない者の肝炎が1998年に米国で報告され、E型肝炎ウイルス(HEV)型と呼ばれるようになった。ブタが感染源となって、ヒトに感染することが推定される。
2003/11/27	29	平和物産	人工心肺装置の付属品(動脈フィルター)	ヘパリン	ブタ小腸		組成・構造	無し			
2003/12/9	30	平和物産	人工心肺装置の付属品(貯血器)	ヘパリン	ブタ小腸		組成・構造	無し			
2003/12/18	31	泉工医科工業	膜型人工肺	ヘパリン	ブタ小腸粘膜	米国	製造工程	無し			
2004/1/20	32	エドワーズライフサイエンス	血管修復材料	ウマ心のう膜	ウマ心のう膜	米国	組成・構造	有り	ウエストナイルウイルス感染	CDC HP West Nile Virus December 17, 2003 APHIS HP West Nile Virus in 2003; 1/6, 2004	2003年12月17日現在の米国内での2003年WNV感染者数の情報。症例数8,912例、うち死亡211例。 2003年12月30日現在の米国内のウマでの2003年WNV感染数。41の州から感染症例数4,554が報告された。
2004/1/26	33	泉工医科工業	人工心肺装置の付属品	ヘパリン	ブタ小腸粘膜	米国	製造工程	無し			
2004/2/4	34	生化学工業	その他の外科・整形外科用手術材料(歯周組織再生誘導材料)	エナメルマトリックスデリバティブ	幼若ブタの歯胚		組成・構造	有り	E型肝炎	Journal of General Virology 2003; vol.84: 2351-7	北海道で市販されているブタの肝臓の1.9%からHEV遺伝子の一部を検出。この遺伝子が、ブタ肝臓を摂取後HEVに感染した患者のウイルスとほぼ同等の塩基配列を呈したことから、HEVが十分加熱されていないブタ肝臓の摂取によりヒトに感染する可能性が示唆された。
2004/2/4	35	日本ベクトン・ディッキンソン	滅菌済み心臓用チューブ及びカテーテル	ヘパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	米国、中国、カナダ	組成・構造	無し			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	感染症(PT)	出典	概要
2004/2/5	36	泉工医科工業	人工心肺用血液回路	ヘパリン	ブタ小腸 粘膜	米国	製造工程	無し			
2004/2/10	37	東洋紡績	1 滅菌済み開心術用チューブ 及びカテーテル(チューブ) 2 膜型人工肺	ヘパリンナトリウ ム	ブタ小腸 粘膜	中国	組成・構造	無し			
2004/2/12	38	大日本インキ化 学工業	膜型人工肺	ヘパリンナトリウ ム	ブタ小腸 粘膜	中国	組成・構造	無し			
2004/02/18	39	ガンプロ	滅菌済み人工腎臓用留置針	ヘパリンナトリウ ム	ブタ腸粘 膜	イタリア	組成・構造	有り	E型肝炎	Journal of Clinical Microbiology 2003; 41(8): 3602-8	韓国において、ブタ血清試料からブタHEV分離株を3株同定した こと、供血者の18%は抗ブタHEV抗体陽性であったことなど から、ヒトとブタの間に無症候性HEV感染が流行している可能性 が示唆された。
								有り	エルシニア感染	CDC MMWR, 10/10, 2003/52(40): 956-8	2002年12月から2003年1月にかけて、the Chicago Department of Public Healthは、10週間でシカゴの1歳以下の乳幼児9名に 報告されたエルシニア・エンテロコリチカの集団発生を調査し た。その結果、食用小腸(例えば、ブタの小腸)に曝露された乳 幼児には腸管感染症が継続するリスクが明らかになった。
2004/02/19	40	ファイザー	眼内レンズ	ヘパリンナトリウ ム	ブタの腸		組成・構造	無し			
2004/02/20	41	日本シャーウッ ド	滅菌済み中心静脈注射用 チューブ及びカテーテル	ヘパリン	ブタ腸粘 膜	ブラジル	製造工程	有り	E型肝炎	Journal of Clinical Microbiology 2003; 41(8): 3602-8	韓国において、ブタ血清試料からブタHEV分離株を3株同定した こと、供血者の18%は抗ブタHEV抗体陽性であったことなど から、ヒトとブタの間に無症候性HEV感染が流行している可能性 が示唆された。
2004/02/19	42	三矢メディカル	人工心肺用血液回路	ヘパリン	ブタ小腸		組成・構造	無し			
2004/03/03	43	ジェイ・エム・エ ス	1 滅菌済み血管処置用チュー ブ及びカテーテル 2 血液体外循環機器の付属 品 3 人工心肺用血液回路 4 血液体外循環機器の付属 品 5 人工心肺装置の付属品(血 液フィルター) 6 その他の血液回路(コネク ター) 7,8 人工心肺用ポンプ	ヘパリン	ブタ腸管 粘膜	スペイン	1~10 組 成・構造	無し			
2004/03/05	44	ウベ循研	1 その他の滅菌済み留置 チューブ及びカテーテル(動注 カテーテル) 2 人工心肺用血液回路	ヘパリンナトリウ ム	ブタ小腸 粘膜	中国	1,2 組成・ 構造	無し			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	感染症(PT)	出典	概要
2004/03/11	45	ユニチカ	1 滅菌済み中心静脈注射用チューブ及びカテーテル 2 滅菌済み人工腎臓用留置針 3,4 滅菌済み体内留置排液用チューブ及びカテーテル 5,6 滅菌済み中心静脈注射用チューブ及びカテーテル 7,8 滅菌済み人工腎臓用留置針 9 その他のチューブ及びカテーテルの周辺関連器具(カテーテルの内栓)	ウロキナーゼ	ヒト尿	中華人民共和国	1~9 組成・構造	無し			
2004/03/16	46	メディコン	心臓ペースメーカーの付属品(電極カテーテル)	ヘパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	中華人民共和国	組成・構造	無し			
2004/03/16	47	佐多商会	その他の一人用生体情報モニタ及び関連機器(血液ガス連続測定装置)	ヘパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	アメリカ合衆国/カナダ	組成・構造	有り	E型肝炎	Journal of General Virology 2003; vol.84: 2351-7 Internal Medicine 2003; 42: 1065-71 Journal of Clinical Microbiology 2003; 41(8): 3602-8 Journal of Infectious Diseases 2003; 188(6): 944	北海道で市販されているブタの肝臓の1.9%からHEV遺伝子の一部を検出。この遺伝子が、ブタ肝臓を摂取後HEVに感染した患者のウイルスとほぼ同等の塩基配列を呈したことから、HEVが十分加熱されていないブタ肝臓の摂取によりヒトに感染する可能性が示唆された。 E型肝炎は多くの発展途上国の急性肝炎の主な原因因子であったが、近年、流行地域への渡航歴のないヒトで起こることが明らかになった。日本におけるE型肝炎ウイルス感染の特徴としては、ブタ肝臓や野生鹿の生肉の摂取による感染や人畜共通感染症の可能性などがあげられる。 韓国において、ブタ血清試料からブタHEV分離株を3株同定したこと、供血者の18%は抗ブタHEV抗体陽性であったことから、ヒトとブタの間に無症候性HEV感染が流行している可能性が示唆された。 日本で急性E型肝炎を発症した2名の患者はイノシシの肝臓を生で摂取していた。日本において地域的なHEV感染が潜在している一因は、こうした食習慣による可能性がある。
2004/03/16	48	東京シーアールオー	その他の一人用生体情報モニタ及び関連機器(血液ガス連続測定装置)	ヘパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	アメリカ合衆国/カナダ	組成・構造	有り	E型肝炎	Journal of General Virology 2003; vol.84: 2351-7 Internal Medicine 2003; 42: 1065-71	北海道で市販されているブタの肝臓の1.9%からHEV遺伝子の一部を検出。この遺伝子が、ブタ肝臓を摂取後HEVに感染した患者のウイルスとほぼ同等の塩基配列を呈したことから、HEVが十分加熱されていないブタ肝臓の摂取によりヒトに感染する可能性が示唆された。 E型肝炎は多くの発展途上国の急性肝炎の主な原因因子であったが、近年、流行地域への渡航歴のないヒトで起こることが明らかになった。日本におけるE型肝炎ウイルス感染の特徴としては、ブタ肝臓や野生鹿の生肉の摂取による感染や人畜共通感染症の可能性などがあげられる。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	感染症(PT)	出典	概要
										Journal of Clinical Microbiology 2003; 41(8): 3602-8	韓国において、ブタ血清試料からブタHEV分離株を3株同定したこと、供血者の18%は抗ブタHEV抗体陽性であったことなどから、ヒトとブタの間に無症候性HEV感染が流行している可能性が示唆された。
										Journal of Infectious Diseases 2003; 188(6): 944	日本で急性E型肝炎を発症した2名の患者はイノシシの肝臓を生で摂取していた。日本において地域的なHEV感染が潜在している一因は、こうした食習慣による可能性がある。
2004/03/12	49	テルモ	1,2 滅菌済み心臓用チューブ及びカテーテル	カゼイン	ウシ乳	ニュージーラン	1,2 組成・構造	無し			
2004/03/12	50	テルモ	1 膜型人工肺 2 人工心肺装置の付属品(心内血吸引貯血槽) 3 人工心肺装置の付属品(静脈貯血槽) 4 人工心肺装置の付属品(人工心肺用貯血槽) 5 人工心肺装置の付属品(人工心肺用気泡除去器) 6 人工心肺装置の付属品(血液ろ過器) 7 滅菌済み心臓用チューブ及びカテーテル 8 その他の人工肺(ディスポーザブル人工心肺システム) 9 人工心肺用血液回路 10 人工心肺用ポンプ 11 人工心肺用血液回路 12 滅菌済み血管診断用チューブ及びカテーテル 13 人工心肺装置の付属品(血液ろ過器) 14 その他の血液回路(体外循環用血液ガス測定用セル) 15 滅菌済み心臓用チューブ及びカテーテル	ヘパリン	ブタ小腸粘膜	米国・中国	1~15 組成・構造	無し			
2004/03/18	51	東レ	埋込み型医薬品注入器	ヘパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	ブラジル、中国	組成・構造	無し			
2004/03/18	52	東レ	滅菌済み血管診断用チューブ及びカテーテル	ヘパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	ブラジル、中国	組成・構造	無し			
2004/03/18	53	東レ	滅菌済み血管診断用チューブ及びカテーテル	ヘパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	ブラジル、中国	組成・構造	無し			
2004/03/18	54	東レ	その他の外科・整形外科用手術材料(涙液・涙道シリコンチューブ)	ヘパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	ブラジル	組成・構造	無し			
2004/03/18	55	東レ	滅菌済み血管診断用チューブ及びカテーテル	ヘパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	ブラジル、中国	組成・構造	無し			



受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	感染症(PT)	出典	概要
2004/03/18	56	東レ	滅菌済み体内埋込みチューブ及びカテーテル	ヘパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	ブラジル、中国	組成・構造	無し			
2004/03/18	57	東レ	合成樹脂製人工血管	ヘパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	ブラジル	組成・構造	無し			
2004/03/18	58	東レ	滅菌済み血管診断用チューブ及びカテーテル	ヘパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	ブラジル、中国	組成・構造	無し			
2004/03/18	59	東レ	滅菌済み血管診断用チューブ及びカテーテル	ヘパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	ブラジル、中国	組成・構造	無し			
2004/03/22	60	タカラバイオ	その他の血液浄化用装置(磁気細胞分離システム)	羊抗体	ヒツジ血液	ノルウェー	組成・構造	有り	クロイツフェルト・ヤコブ病	Google2004年2月13日検索(農林水産省HP資料 9/22, 10/23, 2003、北海道庁HP農政部資料 9/20, 2003)	平成15年9月20日、北海道において死亡めん羊を病性鑑定した結果、スクレイビーの患畜が確認、その後、患畜との同居歴など疫学的に患畜と関連性の高いめん羊101頭を調査したところ、平成15年10月22日、2頭が陽性と確定された。当該患畜及び疑似患畜は家畜保健衛生所において焼却済みである。
2004/03/22	61	タカラバイオ	その他の血液浄化用装置(磁気細胞分離システム)	マウス抗体	マウス脾細胞由来のハイブリドーマの細胞培養液	米国	組成・構造	有り	ハンタウイルス感染	ProMED 3/6, 2004 (El Mercurio 1/29, 2004, Associated Press Report 1/14, 2004, Ximena Aguilera 1/8, 2004, EFE News Service 1/1, 2004, Health AP 12/4, 2003, Seattle Post Intelligencer 11/13, 2003, EFE Salud 10/3, 2003, Epidemiological Bulletin Hantavirus 9/26, 2003)	チリ、米国、アルゼンチンにおける、ハンタウイルスに感染したげっ歯類の尿、糞、唾液で汚染された粉塵等によるヒトへのハンタウイルス感染事例及び流行状況等についての報告。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	感染症(PT)	出典	概要
										ProMED 3/6, 2004 (Regions.ru, Regional News Agency 1/23, 2004, ITAR-TASS News Agency 1/19, 2004, Regions.ru, Regional News Agency 1/9, 2004, Interfax-Kazakhstan News Agency 12/27, 2003, IRINnews.org 12/10, 2003, Regions.ru, Regional News Agency 12/3, 2003, Infectious and Parasitic Diseases 11/25, 2003, Infectious and Parasitological Diseases News 11/5, 2003, The Gideon Database 10/10, 2003, Institute de Veille Sanitaire, Actualite 10/7, 2003)	ロシア、タタルスタン、カザフスタン、フランスにおける、ハンタウイルスに感染したげっ歯類の尿、糞、唾液で汚染された粉塵等によるヒトへのハンタウイルス感染事例及び流行状況等についての報告。
2004/03/22	62	タカラバイオ	その他の血液浄化用装置(磁気細胞分離システム)	ヒト血清アルブミン	ヒト血液	米国	組成・構造	無し			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	感染症(PT)	出典	概要
2004/03/29	63	エドワーズライ フサイエンス	1 滅菌済み血管処置用チューブ及びカテーテル 2,3,4,5,6 滅菌済み心臓用チューブ及びカテーテル 7,8 滅菌済み血管処置用チューブ及びカテーテル 9 その他の滅菌済み血管用チューブ及びカテーテル(滅菌済み血管処置用チューブ及びカテーテルの付属品) 10 滅菌済み中心静脈注射用チューブ及びカテーテル 11 心臓ペースメーカーの付属品(短期ペースティング用電極) 12 その他の人工肺(ディスポーザル膜型人工心肺システム) 13 人工心肺用ポンプ 14,15 滅菌済み開心術用チューブ及びカテーテル 16 人工心肺用血液回路 17,18 人工心肺装置の付属品(血液フィルター) 19,20 人工心肺装置の付属品(心内血 / 静脈血貯血槽) 21 人工心肺装置の付属品(静脈血貯血槽) 22 人工心肺装置の付属品(心内血貯血槽)	ヘパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	1~11中国、12~15米国、カナダ、16米国、カナダ、イタリヤ、17~22米国、カナダ	組成・構造	有り	E型肝炎	Journal of General Virology 2003; vol.84: 2351-7	北海道で市販されているブタの肝臓の1.9%からHEV遺伝子の一部を検出。この遺伝子が、ブタ肝臓を摂取後HEVに感染した患者のウイルスとほぼ同等の塩基配列を呈したことから、HEVが十分加熱されていないブタ肝臓の摂取によりヒトに感染する可能性が示唆された。
										Journal of Clinical Microbiology 2003; 41(8): 3602-8	韓国において、ブタ血清試料からブタHEV分離株を3株同定したこと、供血者の18%は抗ブタHEV抗体陽性であったことから、ヒトとブタの間に無症候性HEV感染が流行している可能性が示唆された。
2004/03/31	64	トノクラ医科工業	1 人工心肺用血液回路 2 滅菌済み開心術用チューブ及びカテーテル 3 膜型人工肺	ヘパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	アメリカ	1~3 製造工程	有り	E型肝炎	Internal Medicine 2003; 42: 1065-71	E型肝炎は多くの発展途上国の急性肝炎の主な原因因子であったが、近年、流行地域への渡航歴のないヒトで起こることが明らかになった。日本におけるE型肝炎ウイルス感染の特徴としては、ブタ肝臓や野生鹿の生肉の摂取による感染や人畜共通感染症の可能性などがあげられる。
										北海道獣医師会雑誌 2003; 47(9): 345-350	HEVは急性肝炎・劇症肝炎を起こすウイルスで、長い間、輸入感染症として考えられていたが、国内でも散発的に発生している。最近の研究では、野生ラットをはじめシカ、ブタ、イノシシなどがHEVの宿主として考えられており、シカ肉の生食、ブタ肝臓の生食にとる感染例が報告されている。
										医学のあゆみ 2003; 207(8): 561	市販のブタ肝臓の約2%からHEV遺伝子が検出、加熱調理が不十分なブタ肝臓の摂取がE型肝炎発症の原因となりうるものと推測した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	感染症(PT)	出典	概要
										養豚の友 2003; 10: 54-7	E型肝炎はA型肝炎同様、経口感染し、感染してから発症までの潜伏期間が平均40日と長いこと、ウイルス血症の期間が6週間と長く、それに伴い糞便中への排出期間も長い。
										Journal of General Virology 2003; vol.84: 2351-7	北海道で市販されているブタの肝臓の1.9%からHEV遺伝子の一部を検出。この遺伝子が、ブタ肝臓を摂取後HEVに感染した患者のウイルスとほぼ同等の塩基配列を呈したことから、HEVが十分加熱されていないブタ肝臓の摂取によりヒトに感染する可能性が示唆された。
								有り	サルモネラ症	Abstracts of the General Meeting of the American Society for Microbiology 2003; 103 pZ-045	近年、抗生物質セファロスポリン耐性の多剤耐性株のサルモネラが認められ、米国において動物とヒトの双方の間で流行が拡大しつつある。
										Journal of Applied Microbiology 2003; 95(5): 891-903	食肉処理施設におけるサルモネラ出現率は日によって異なることや、サルモネラ陽性ブタの約1/3が交差汚染をしていたことから、サルモネラ汚染を管理する上では、施設の衛生管理が決定要因となることが明らかになった。
								有り	エンテロウイルス感染	日本豚病研究会報 2003; 43: 4-6	ブタエンテロウイルス性脳脊髄炎の近年の状況について、歴史、病因などをまとめた報告。日本では2002年に富山県の一貫経営養豚場から報告を受けた例があるが、その後の発生はない。
										月刊養豚界 2003; 38(10): 62-3	2002年、富山県の一貫経営養豚場から、わが国で初めてブタエンテロウイルス性脳脊髄炎の報告を受けた例について、発生経過、検査成績などについての報告。
								有り	エルシニア感染	CDC MMWR, 10/10, 2003/52(40): 956-8	2002年12月から2003年1月にかけて、the Chicago Department of Public Healthは、10週間でシカゴの1歳以下の乳幼児9名に報告されたエルシニア・エンテロコリチカの集団発生を調査した。その結果、食用小腸(例えば、ブタの小腸)に曝露された乳幼児には腸管感染症が継続するリスクが明らかになった。
								有り	コレラ	OIE Diseases Information, 1/16 2004; Vol.17-No.3	スロバキア・Priedviza地区のブタ飼育農場で豚コレラが1件発生した。これでスロバキアにおける今回の豚コレラの発生は、感染が疑われる豚17,118頭、感染した豚500頭、死亡22頭で、17,096頭の豚が処分された。
										OIE Diseases Information, 3/12 2004; Vol.17-No.11	イタリアにおいて家畜豚計12頭に豚コレラが認められ、殺処分及びゾーニングの対策が取られている。
										OIE Diseases Information, 10/17 2003; Vol.16-No.42	タンザニアの5地区でアフリカ豚コレラが発生、49頭が死亡し、44頭が殺処分された。
										OIE Diseases Information, 10/24 2003; Vol.16-No.43	2003年4月、ナイジェリアにおいてアフリカ豚コレラが流行、2000頭が発症、1815頭が死亡した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	感染症(PT)	出典	概要
										OIE Diseases Information, 1/9 2004; Vol.17-No.2	2003年4月及び5月、マレーシアにおいて豚コレラが流行、感染が疑われる豚2,500頭、感染した豚1,500頭、死亡500頭であった。
										OIE Diseases Information, 12/12 2004; Vol.16-No.50	スロバキア・Banobce ned Bebravou地区の1ヶ所、Prievidza地区の1ヶ所で豚コレラが発生した。感染が疑われる豚372頭、死亡2頭で、370頭の豚が処分された。
										Veterinary Microbiology 2003; 96(1): 25-33	クロアチアでは1997～2001年の5年間で豚コレラの集団発生が数回にわたり記録されている。解析の結果、2つの異なる発生源が同じ年にクロアチアで集団発生を起こしたことが明らかになった。
							有り	人畜共通感染症(仮性狂犬病)		Journal of Wildlife Disease 2003; 39(3): 567-75	米国の32州以上に生息する野豚に由来する仮性狂犬病ウイルスの潜在部位を調べたところ、仙骨神経節が最も高い潜在率を示したことから、このウイルスが主に交尾により伝播され、飼養豚において頻繁に認められる呼吸器経路では伝播されないという仮説が裏付けられた。
							有り	口蹄疫		Abstracts of the General Meeting of the American Society for Microbiology 2003; 103 pY-041	ウシ、ブタなどの重度かつ感染性の高いウイルスの口蹄疫ウイルスについて、R.A.P.A.D.(R)システムを用いたりアルタイム逆転写PCRによる検出法についての考察。
							有り	ウイルス感染(PPRSV:ブタ生殖器呼吸器症候群ウイルス)		Virology 2003; 317(2): 197-207	ブタ生殖器呼吸器症候群ウイルス(PPRSV)の自然感染したブタの扁桃腺生検より読みとった遺伝子を増幅、クローニングし、クローンの配列を調べたところ、複数の変異体を有していた。PPRSVは自然感染において、関連した遺伝子の亜腫が分布して存在していることが示唆された。
							有り	コロナウイルス感染		化血研所報黎明 2003; 12: 1-17	ブタ流行性下痢(PED)の病態、防御機序および予防と対策の現状についての概説。1996年以降、日本においてPEDの発生は散発的になっているが、コロナウイルス科に属するPEDウイルスが完全に撲滅されたわけではない。
							有り	ウエストナイルウイルス感染、ウイルス感染(ニパウイルス)		養豚の友 2003; 9: 53-55	WNVの感染経路は蚊が飛行機で運ばれたか、密輸された鳥類によると考えられている。また、マレーシアにおけるニパウイルス流行を追跡すると、ブタとの接触のあることが判明した。ニパウイルスの固有宿主はフルーツコウモリとされ、森林を開拓して養豚場を設けたことにより感染が起きたと推定されている。
							有り	インフルエンザ		読売新聞2004年2月7日、西日本新聞2004年2月7日	国連食糧農業機関ベトナム事務所長は、ベトナム・ハノイ地域のブタの鼻腔から鳥インフルエンザH5N1を検出したことを明らかにした。
										免疫因子研究会HP	豚は「ウイルスの揺り籠」といわれるほど、様々な病原菌に冒されやすく、鳥や人間のインフルエンザに簡単に感染し、その体内で遺伝子再集合が起き、早いスピードで進化すれば、ヒトに感染しやすいウイルスが誕生する可能性がある。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	感染症(PT)	出典	概要
								有り	レンサ球菌感染	Lijecnicki Vjesnik 2003; 125: 134-7	クロアチアで自宅でブタを処理したことにより、感染したと思われるストレプトコッカス・スイス 型患者が2例発生した。
								有り	クロイツフェルト・ヤコブ病	CDC HP	米国農務省は、ワシントン州の食肉処理場で処理されたホルスタイン種ウシ1頭が、米国で初めてのBSEであると推定診断されたと発表した。
										OIE Diseases Information, 1/2 2004; Vol.17-No.1	米国ワシントン州Mabton近郊で、2003年12月23日、カナダから2001年に米国に輸入されたホルスタイン種の乳牛1頭にBSEが発症した。
										CDC MMWR, 12/5, 2003/52(48): 1179-81	日本で1997年から厚生省により資金援助を受けたNGOによると、2003年5月、調査の結果、97例のCJD患者が死亡ドナー由来の硬膜の移植を受けていたことが判明した。また、移植からCJD発症までに長い潜伏期間があること、1991年以降に移植を受けた患者にはCJD発症者がいないことなどが報告されている。
								有り	重症急性呼吸器症候群	CDC Health Update: SARS and Flu, 1/14, 2004	中国衛生部とWHOは、2004年1月13日に広東省の35歳の男性をSARSが疑われる3番目の症例として発表した。現在、これまでの2例との関連は判っていないが、3例とも回復しており、接触した人々にも異常はないと報告されている。
										CDC MMWR, 10/17, 2003/52(41): 986-7	中国で動物取引業者と対照群のSARSコロナウイルスIgG抗体の血清保有状況を比較した結果、動物取引業者の抗体陽性率が13%に対し対照群は1~3%であり、SARSが人畜共通感染症であることが示唆された。
										SCIEH Weekly Report, 1/6, 2004/38(1): 1	2004年1月5日、中国広東省広州市の32歳の男性がSARSと疑われ、2ヶ所のWHO関連研究所で検査が実施、感染が確認された。この発生が中国南部の公衆衛生状況に直ちに影響を与えるものではない。
2004/03/30	65	アリージャンス	滅菌済み体内留置排液用チューブ及びカテーテル	ヘパリン(ナトリウム塩)	ブタ小腸粘膜		組成・構造	有り	E型肝炎	Infectious Diseases Weekly Report Japan 2003, 5(46)	日本における発生動向総覧、2003年第46週(11/10~16)によると、E型肝炎1例が報告されている。
								有り	ブルセラ症	Emerging Infectious Diseases 2003; 9(12):	1990年以降、モンゴルの医療システムは変遷を遂げており、特に1991年の国家的予防接種プログラム導入により、大きく改善されてきた。それにも関わらず、4種の代表的な慢性感染症(B・C型肝炎、ブルセラ症、結核、性感染症)に見舞われている。
								有り	ウイルス感染(ニパウイルス)	養豚の友 2003; 9: 53-55	マレーシアにおけるニパウイルス流行を追跡すると、ブタとの接触のあることが判明した。ニパウイルスの固有宿主はフルーツコウモリとされ、森林を開拓して養豚場を設けたことにより感染が起きたと推定されている。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	感染症(PT)	出典	概要
								有り	ウエストナイルウイルス感染	CDC MMWR, 11/21, 2003/52(46): 1132	2003年米国でのWNVのサーベイランスデータの報告。11月13～19日では17州から77症例(うち死亡5例)の報告があり、2003年現時点の報告数は総数で8,470症例となった。同期間で、死亡鳥98羽、蚊100プール、ウマ21頭、犬1匹および未同定の動物1種でWNV感染が報告されている。
										CDC HP West Nile Virus March 25, 2004	米国内での2003年WNV感染者数の情報。症例数9,389例、うち重症例2773例、中等度～軽症例6,452例。
								有り	コレラ	OIE Diseases Information, 3/12 2004; Vol.17-No.11	イタリアにおいて家畜豚計12頭に豚コレラが認められ、殺処分及びゾーニングの対策が取られている。
										OIE Diseases Information, 10/17 2003; Vol.16-No.42	タンザニアの5地区でアフリカ豚コレラが発生、49頭が死亡し、44頭が殺処分された。
										OIE Diseases Information, 10/24 2003; Vol.16-No.43	2003年4月、ナイジェリアにおいてアフリカ豚コレラが流行、2000頭が発症、1815頭が死亡した。
										OIE Diseases Information, 11/28 2003; Vol.16-No.48	スロバキア・Prievidza地区の2ヶ所で豚コレラが発生した。感染が疑われる豚4,286頭、感染した豚670頭、死亡30頭で、4,256頭の豚が処分された。
								有り	クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE Diseases Information, 10/10 2003; Vol.16-No.41	茨城県で月齢23ヶ月の雄のホルスタイン種1頭が、ELISA法、ウエスタンブロット法、組織学的検査、免疫組織科学的検査による結果を踏まえ、非定型BSEであると判定された。この牛は殺処分された。
										OIE Diseases Information, 10/17 2003; Vol.16-No.42	イタリアで2頭の高齢のウシが不定型BSE感染牛と報告された。2頭とも免疫組織化学パターンと免疫生物化学パターンは通常のBSEで認められるパターンと異なり、また脳内におけるPrPsc蓄積の分布の相違も認められた。
										SCIEH Weekly Report, 12/16, 2003/37(50): 1	1992年の発生ピーク時から2003年11月14日までの英国イングランドとスコットランドで確定されたBSEの疫学データが示されている。ピーク時には、イングランドで36,680例(1992年)、スコットランドで2,208例(1993年)のBSE牛が発生したが、2003年にはそれぞれ142例、37例と大幅に減少した。
										CDC HP Bovine Spongiform Encephalopathy and Creutzfeldt-Jakob Disease December 29, 2003	米国農務省は、2003年12月23日、ワシントン州の食肉処理場で処理されたホルスタイン種ウシ1頭が、米国で初めてのBSEであると推定診断されたと発表した。またこの感染牛は2001年にカナダから米国に輸入されていたことが示唆された。
										畜産の研究 2002; 56(8): 16-22	牛海綿状脳症について、その症状、発生、異常プリオンの性状、感染牛の各臓器における危険度、診断法などの知見をまとめた報告。
										家畜診療 2002; 49(3): 207-211	牛海綿状脳症について、その概要、英国及び他国での発生状況、感染牛の臨床症状の特徴とその割合、日本での発生について、取りまとめた報告。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	感染症(PT)	出典	概要
										いんだすと 2002; 17(2): 57-59	牛海綿状脳症について、プリオンタンパクの特徴、ゲノムとプリオンの関係、肉骨粉と焼却などについて、取りまとめた報告。
								有り	インフルエンザ	OIE Diseases Information, 12/19 2003; Vol.16-No.51	2003年12月、韓国の2つの農場で高病原性鳥インフルエンザA型(H5N1)が発生。感染が疑われる鳥29,300羽、死亡21,000羽、殺処分8,300羽となっており、発生した農場及び関係する施設の閉鎖や鶏卵等の処分がされた。
										OIE Diseases Information, 1/23 2004; Vol.17-No.4	2003年12月28日から2004年1月13日にかけて山口県において高病原性鳥インフルエンザA型(H5N1)が発生。感染が疑われる鳥34,640羽、死亡14,985羽、殺処分19,638羽、と畜17羽となっている。
										鶏病研究会報 2003; 39(1): 43-5	2003年2月にオランダで、同年4月にベルギーで発生した、高病原性鳥インフルエンザA型(H7N7)について、その概要を取りまとめた報告。
								有り	口蹄疫	OIE Diseases Information, 8/15 2003; Vol.16-No.33	南アフリカで、ウシの群から採取された血液等でウイルスタイプSAT2による口蹄疫が認められた。これは口蹄疫管理区域内での発生で、他地域への影響はないと考えられる。キャリアであるアフリカンバッファローとの接触が感染の原因ではないかと疑われている。
										OIE Diseases Information, 2/13 2004; Vol.17-No.7	2003年12月に起きたタジキスタンにおける口蹄疫の発生の報告。ウシで感染の疑いがあるもの42,669頭、羊で感染の疑いがあるもの112,369頭で、病因は口蹄疫ウイルスA型である。
										OIE Diseases Information, 1/16 2004; Vol.17-No.3	アルゼンチンでは2003年10月10日を最後に口蹄疫の発生はなく、良好な疫学的な経過と監視活動の結果から、動物の健康に関する緊急事態は解除された。
										OIE Diseases Information, 1/16 2004; Vol.17-No.3	リビアでは2003年7月4日以降、口蹄疫の新たな発生は報告されていない。これにより、感染が起きた地帯における動物の移動制限及び隔離処置は解除された。
										OIE Diseases Information, 2/6 2004; Vol.17-No.6	2004年1月に起きたイスラエルにおける口蹄疫の発生の報告。感染の疑いがあるウシ975頭、うち感染したウシは113頭で、病因は口蹄疫ウイルスO型である。
										Abstracts of the General Meeting of the American Society for Microbiology 2003; 103 pY-041	ウシ、ブタなどの重度かつ感染性の高いウイルスの口蹄疫ウイルスについて、R.A.P.A.D.(R)システムを用いたリアルタイム逆転写PCRによる検出法についての考察。
2004/03/11	66	ニプロ	1 その他の滅菌済み留置チューブ及びカテーテル(血管内留置用カテーテル) 2 滅菌済み体内植込みチューブ及びカテーテル 3 滅菌済み中心静脈注射用チューブ及びカテーテル	ヘパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中国	組成・構造	無し			